

19年度司法試験合格 OB からのメッセージ

上林 純さん

2019年 司法試験合格
2015年 中央大学法科大学院
既修者コース入学
同未修者コース
法政大学法科大学院（特待生）
学習院大学法科大学院（特待生）
にも合格

私は、日常生活で役立つ学問を学びたいと思い、法学部に進学しました。いざ授業が始まり、指定された参考書を読んでも、専門用語が飛び交い日本語で書いてあるのに全く理解できないという事態に陥りました。これは困ったと思いましたが、法職講座の存在を思い出し、早速受講することにしました。法職講座では、基本書の専門用語の説明だけでなく、どこが重要でどのように読むべきかが解説され、これまで読書感想文の課題以外で本を読んでこなかった私にも分かるように講義が進められました。私が法科大学院進学を決意するきっかけとなったのが、この法職講座でした。

入学してからはしばらくは、司法試験は難しいというイメージがあったので、どうしても法科大学院への進学を決意できませんでした。しかし、法職講座の先生方が法職講座 OB で司法試験に合格された方と交流する機会を設けてくださり、その機会に、「司法試験は、諦めなければ誰でも合格できる試験だ」と教えてくれたことが、私が法科大学院への進学を本気で考えるきっかけになりました。

また、法科大学院進学を考えている人は、是非、法学部生用学習室（以下、学習室）を利用してください。学習室では、利用者間の縦のつながりが強く、学習室の先輩には授業・入試等について気軽に相談でき、勉強面での不安を解消することができました。しかも、この縦のつながりは法科大学院進学後も続き、履修相談や試験対策等の面倒も見てもらいました。

法学部の先生方は、学習をサポートしてくれます。勉強を進めるとどうしても理解できない場合があると思いますが、そんな時、たとえアポなしで先生の研究室を訪ねても、先生方は嫌な顔ひとつせず時間を割いて丁寧に説明してくださいました。法科大学院受験の際には、志望理由書を何度も見直し、納得できるまでサポートしてくださいました。

このように、法学部では勉強をサポートする環境が整っています。これから東海大生となる皆さんは、司法試験に限らず各種資格試験、公務員試験を目指して、この環境を存分に活用してください。♠

曾根 健太さん

2019年度 司法試験合格
2014年度 明治大学法科大学院
(飛び入学)

私は、高校生の頃は部活動に力を入れていたので勉強はあまりせず、将来の目標もありませんでした。東海大学法学部に入って、今まで勉強してこなかった分きちんと勉強しようと思い、1年生の時に法職講座を受講し、学習室に入りました。

法職講座とは、法律の勉強をサポートしてくれる組織で、私のいた頃は、司法試験向けの DVD 講座や、専門書の読み方講座などが開講されていました。高校生の時とは勉強する内容が全く違い、最初はかなり戸惑いました。しかし、法職講座で勉強するにしたがって、大学の成績も上がり、卒業までトップ 10 に入る成績を取り続けることができました。

私の在学中に学習室を利用していた学生は 15 人ほどでした。先輩後輩関係なく自然と学習室の人と話すようになっていきます。学習室では司法試験や公務員試験を目指している人が多く、勉強のモチベーションを上げることができます。また、分からないことがあった時や勉強の方法を聞きたい時など、気軽に先輩などに尋ねることができます。高校生の頃は司法試験など全く考えてもいませんでしたが、学習室で、仲の良くなった先輩や友達の話や話を聞くうちに、司法試験を目指そう、と決意しました。

私が司法試験に合格できたのは、大学で積極的に行動したからだと思います。目標は行動しないと見つかりません。皆さんは、今目標ややりたいことがなかったとしても、大学生になったらサークルでも勉強でも何でも良いので怖がらずに積極的に行動してみてください。その行動の結果、何か目標が見つかるかもしれません。

入学後は、是非、法職講座や学習室を利用してください。その行動が、皆さんのこれからの皆さんの人生の大きな一歩になるはずですよ。♠